

仁雄会創設 50 周年式典行われる

去る 6 月 4 日（土曜日）東京医科歯科大学仁雄会創設 50 周年式典が東京・芝東京プリンスホテルで開催されました。大きな式典としては平成 20 年の躰道部創部 50 周年式典以来となります。ご存じのとおり、本年 3 月未曾有の大震災に日本が襲われ、各界で式典等の中止が報道されました。本式典も一時は計画停電の恐れもあるので中止してはどうかという議論がなされましたが、予定どおり式典を開催致しました。この会は躰道部の顧問をお引き受けいただいた、天笠光雄先生（歯学部顎顔面外科学分野教授）がこの 3 月に東京医科歯科大学をご退官されましたので、先生の長年のご好意に感謝の意を表す会を兼ねており、また本会は新歓コンパも兼ねる形として行われました。

会はずまず東日本大震災の被災者を忍ぶ黙祷から始まりました。躰道関係では門馬玉昇（弘好）先生（五段教士）が逝去された他石巻躰道協会など相当の被害が出ています（仁雄会からも義援金を送らせていただきました）。引き続き仁雄会創設者である谷口先生から最高師範の思い出を交えたご挨拶があり、さらに木下先生から祝辞ならびに乾杯のご発声をいただきました。しばし歓談の後、天笠部長に感謝する会へと移りました。

天笠先生は東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面外科学分野の教授平成 12 年より東京医科歯科大学躰道部部長にも就任されております。天笠先生へは渡辺三雄先生から感謝の言葉が贈られ、引き続き先生ご本人からご挨拶がありました。天笠先生は前橋高校のご出身であり、谷口先生が群馬県循環器センターを創設されたおりに、躰道繋がりや地元繋がりやの二重のご縁があり、医局から医師を派遣するに到ったと言う事でした。なお天笠先生には記念品として花束と高級ワインが送られました。

次いで本年度入部した新入部員の紹介、各自の挨拶が行われました。本年はこの式典に併せていただいたかのように、9 人という大勢の部員が入部し特に後述するように同日昼間に行われた学内大会では、並みいる先輩を差し置いて新入部員の〇〇さんが優勝するという快挙が達せられました。新入部員への励ましの言葉は、元監督である宮崎隆先生と若手 OB の古山貴基先生から贈られました。

さらに昼間行われた学内躰道優勝大会（後述）、の褒賞授与がおこなわれたのち、現監督の宮下先生から躰道部 OB が活動する為の受け皿としての「湯島道場」の紹介がありました。これは仁雄会報でもお伝えしましたが、実際に OB がチームを組んで試合に出場する等の活動を展開しています。

会は藤原先生の間挨拶、乾杯に引き続き恒例の近況報告へと進みました。仁雄会会員の先生方は世代別に壇上にあがっていただき「一人一言簡単に」ということでスピーチをお願いしたのですが、やはり 50 年の歴史というのは相当な重みがあり、絵に描いたようには行かず、ここ書ききれないいろいろな話が飛び出しました。なかでも戸塚先生が体調を壊されたときに仁雄会の仲間が大変励みになった事、私の同期の土井先生が寄付講座の教授に就任し、活発な活動をしているという頼もしい話が印象に残りました。また本当に遠方からご出席いただいた、鈴木晴司先生、新富芳明先生には本当に感謝申し上げます。そのような各先生方の話が続いていくうちにあっという間に時間が経ち、現監督補の堀内先生の指揮による恒例の 10 本付きを持って会はお開きとなり、その後写真室へ移動して集合写真を取った後散会となりました。

大人数となったため進行等が順調にいかなかった点ではありますが、これだけの人数の先生方、現役部員の集まっただき、実行委員長としてはとにかく感謝の念で一杯です。出席された先生方には心より感謝申し上げます。また私が実行委員長となりましたが、実務に関しては坪川、江川、飯村の 3 人の若手会員にほとんど丸投げの状態でした。3 人にはこの場をお借りして改めて感謝いたします。また今後の仁雄会の活動にも協力してくれるという事なので、私が引き続き実行委員長として彼らの力を借りながら活動していきたいと考えています。会員の皆様の引き続きの、ご理解とご援助をお願いいたします。

仁雄会関係式典出席者谷口興一、中島 章皓、木下一郎、渡辺 三雄、新富 芳明、藤原 秀臣、飯泉智弘、佐藤 良治、清水友、小川博章、戸塚慎一、原良秋、宮崎隆、橋本吉明、伊藤雅史、守澤正幸、土井庄三郎、柴田俊一、渡邊竜登美、役山仁登志、金明培、島田康史、森田恭一、布施泰子、馬場麻人、塩崎智彦、堀内和一朗、宮下宏紀、三枝英敏、古山貴基、江川京子、飯村祥子、窪田亜希、佐々木真理、坪川正樹、池尾茉莉、中西一弘、隈陽一郎、戸出真宏



*大会結果

東京城北地区躰道優勝大会

展開競技：

女子団体実戦：

男子級位実戦：

女子級位実戦：

男子個人法形

詳細は躰道部ホームページ（アドレス：<http://tmdutaido.client.jp/>）の「日誌」6月29日分をご覧ください。

仁雄会創設50周年記念学内躰道優勝大会 6月4日 於 学部道場

個人法形 優勝 宮本翔平
準優勝 堀内和一郎

団体実戦
優勝 OB チーム

演武 団体法形 （かつて恒例としていた式典時の学内大会を3年前に復活し、今回も行うかどうかを現役部員に聞いたところ、ぜひやりたいとのことなので、今回は試合の企画、運営はすべて現役部員に任せて開催されました。

当日は己練館館長中野哲爾先生を審判長に迎え、親善試合ながらも真剣味あふれる熱戦が繰り広げられました。また新富先生をはじめ仁雄会の先生方も10名ほど観戦にお越しになりました。個人法形はOBと現役が混じってのトーナメントとなり、決勝は3年の宮本が監督補の堀内を破り、優勝となりました。宮本は果敢に捻宙にいどみ、試合を重ねるごとにその精度が増し、本当に勢いに乗っての優勝となりました。準優勝の堀内の法形も見事なもので、特に準決勝で見せた捻体の法形を決勝で行えば（決勝は転体で行った）勝敗はどちらに転んだかわからないと思わせるほどでした。

恒例の現役対OB対抗戦も上述のようにOBは卒業後も活動しているものが大半なので、全試合ともOBの勝利となりました。詳しい試合経過はやはり詳細は剣道部ホームページ（アドレス：<http://tmdutaido.client.jp/>）の誌7月20日分をご覧ください。

秋シーズンの試合予定

本年、学生大会は例年通り綾瀬の東京武道館での開催ですが、開催日が土曜日となっています。全日本大会は東京武道館ではなくBumB東京スポーツ文化館での開催となっています。本年は展開競技がかなり精度よくまとまっていますので、大いに期待できるころだと思います。式典に引き続き、時間の都合がつかましたら大会の方へも是非足をお運びください。大会は医科歯科大学のOBであることを告げればそのまま入場できますが、事前にご一報いただければチケットの手配、プログラムの事前発送等を致しますので事務局宛にご一報ください。

* 第45回全国学生剣道優勝大会

日時 平成23年〇月〇日（土）

場所 東京武道館（綾瀬）

#団体展開、団体系形、新人団体系形のほか男女個人法形、実戦に出場予定。

* 第45回全日本剣道選手権大会

日時 平成23年〇月〇日（日）

場所 BumB東京スポーツ文化館

#団体展開、団体系形、および城北チームの一員として団体実戦に数名出場予定。

*平成22年度会計報告

収入	前年度繰り越し金	1,368,347
	会費（過去年度の追加分を含む）	<u>490,000</u>
	計	1,858,347円

支出	現役部員援助	200,000
	通信、印刷費合計	26,000
	現役部員援助（全日本出場義援金）	100,000
	高道先生生花代	15,750
	谷口セツ様生花代	15,750
	二代宗家生花代	15,750
	振込手数料	<u>2,560</u>
	計	475,810円
	翌年への繰り越し金	1,382,537円

昨年度も会費をお振込いただき、ありがとうございました。後述のように現役部員は昨年度の全国学生大会女子個人実戦で準優勝、また全日本選手権男子団体系形で3位入賞するなど奮闘努力し、結果も残しておりますので引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。昨年度会費を収めていただいたのは次の先生方です（順不同、敬称略）。

谷口興一、中島章皓、木下一郎、戸叶正淑、渡辺三雄、藤原秀臣、遠藤玲乃助、高江洲義英、鈴木晴司、日野恒和、岩永勝彦、山内英樹、奥村弘一郎、知花朝美、清水友、福本達、三壁敏雄、小川博章、戸塚慎一、宮崎隆、柴田俊一、佐藤準一、渡辺竜登美、役山比登志、小島雅浩、遠坂颯、篠原一彰、青木章、布施泰子、岡部格、宮下宏紀、窪田亜希、飯村祥子、木村健太郎

*平成23年度仁雄会会費納入のお願い

未曾有の大震災に見舞われた本年度も秋となり、会費納入をお願いする季節になりました。先日記念式典を終了したばかりで、「またか」と思われる先生方もいらっしゃると思いますが、現役部員は多くの新人を迎え活発に活動しておりますので、引き続きのご援助の程、よろしくお願い致します。

会費は例年通り **医学部、歯学部卒1万円、パラメディカルおよび保健衛生学科卒5千円**となっており、同封の振り込み用紙でご納入ください。

加入者名 東京医科歯科大学 仁雄会

口座番号 00130-5- 36708

* 仁雄会事務局長医科歯科大学復帰へ

仁雄会事務局長をつとめさせていただいている不肖、私（柴田）は平成18年11月より北海道医療大学歯学部組織学分野教授を務めさせていただいておりましたが、本年10月1日付けで古巣である、東京医科歯科大学歯学部顎顔面解剖学分野に5年ぶりに復帰する事になりました。顎顔面解剖学分野は昨年前任の山下靖雄教授がご退官された後、久しく教授不在となっておりましたが、来年度から「医歯融合教育」を実施するにあたり、新たに教授を迎える事になりたいへんありがたい事に私がその任につく事になりました。現在のところ「医歯融合教育」とはどのような事をするのかほとんど分からない状況ですが、お世話になった医療大学は大変教育に定評のある大学で、そこで培った「私学流教育」を駆使して母校に貢献する所存です。また、仁雄会事務局長としての活動に関しては、再び事務局を講座内に移す予定で、若手の協力も得られますので今まで以上に活動できると考えています。改めましてどうぞよろしくお願い致します。